

第 12 回 神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会

1. 日時 2025 年 8 月 22 日（金曜日）13：30～15：30
2. 場所 三宮研修センター
3. 司会 神戸市医療監 北 徹（会長） 神戸市健康局部長 梅永 司（事務局）
4. 出席者 委員 18 名のうち 16 名出席（うち、現地参加 12 名 Web 参加 4 名）

5. 会議次第

○議事

- （1）令和 8 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に関する事業提案及び実施状況について
- （2）在宅医療に必要な連携を担う拠点の検討について

○報告

- （1）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議部会の開催について
- （2）介護予防ワーキングの開催について

6. 主な質疑応答・意見

- （1）令和 8 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に関する事業提案及び実施状況について

（ⅰ）かかりつけ医による外国語対応能力向上に関する事業

（神戸市中央区医師会）

- ・どの外国語が対象になるか。（委員）
→中央区に居住されている方が多い、中国、ベトナム、韓国など。最終的にはアンケートを通じて決めていく。（提案者）
- ・宗教的なハラルについても配慮しながら、計画を進めていくのか。（委員）
→医療ニーズに対応することを目的としているが、宗教的ハラルについても（提案団体の）メンバーと慎重に相談をしながら考えていきたい。（提案者）
- ・使用頻度の高い汎用のクエスチョンのリーフレット等を作成いただけると、神戸圏域内全体にも使える財産になり、継続的な事業になると考える。（委員）
- ・AI 機能の仕組みを取り入れていくことも検討していただきたい。（委員）

（ⅱ）在宅医療体制の充実

（神戸市北区医師会）

- ・車検やガソリン代等車両の維持費については、どうするのか。（委員）

- この事業の中で、目安を作り、今後継続してできる形も提案していきたい。(提案者)
- ・検討会議には医療職以外に消防や警察関係者にもご参加いただいてはどうか。(委員)
 - ・高齢者施設では、救急搬送の際に職員が同乗をすることがあり、またその職員を他の職員が迎えに行っているという課題もある。(委員)

(iii) 本人主体による ACP 記録促進と多職種連携支援システムの構築事業
(神戸市須磨区医師会)

- ・ACP の記録の入力が簡便になることは重要であるが、倫理的課題についての研修会開催も併せて行うことや対象とする年代やタイミングについても慎重に検討をしていただきたい。(委員)

(iv) 訪問歯科診療協力歯科医院リスト作成事業

(v) 医科歯科連携勉強会

(vi) 訪問歯科診療勉強会

(vii) 医療従者の確保に関する事業

(viii) コンソーシアムへの提案と検討

(ix) 女性歯科医師復職支援事業

(神戸市東灘区歯科医師会)

- ・歯科医療機関の特徴をまとめていただくようなリストになっているか。(委員)
- 特徴についてもリストに反映していきたい。(提案者)
- ・パソコン等のオンラインで検索できる仕組みになっているか。(委員)
- 東灘区医師会のホームページ内には、検索できる医院のリストはあるが、診療内容については掲載がないので、今後の課題であると認識している。(提案者)
- ・情報の見直し頻度はどの程度か。(委員)
- 最低1年に1回は見直しを実施予定である。随時、東灘区歯科医師会内で歯科医院についての情報共有をしているので、都度対応をしていきたい。(提案者)

(x) 神戸圏域における多職種連携の強化、地域包括ケアシステム拡充のための取り組みとしての障害者在宅歯科医療の推進

(神戸市歯科医師会)

- ・特に摂食嚥下に関しては、言語聴覚士が関わらないといけないので、このような事業の中で一緒に検討させていただける機会をいただけると非常にありがたい。(委員)
- 言語聴覚士や栄養士等の多職種連携を加えたシンポジウムや講習会等も随時開催する予定にしているので、よろしく願いしたい(提案者)

(x i) 医療的ケア児(者)対応医師・看護師の養成

(x ii) 在宅医療後方支援病院との連携協議会

(x iii) 在宅医療連携こうべの拠点整備

(x iv) 患者情報シートの作成及び活用

(神戸市医師会)

- ・この提案事業の中で、多くの看護師が医療的ケア児に関われるとように広げていくといことであるが、レスパイトについてもご検討をいただきたい。(委員)
- ・研修会の裾野を広くしていただき、薬剤師等の他の職種へもぜひPRしていただきたい。(委員)

(i) ~ (x iv)

- ・今回の提案事業については、全て地域事業として兵庫県へ申請を行いたい。(事務局)

(2) 在宅医療に必要な連携を担う拠点の検討について

- ・在宅医療に必要な連携を担う拠点については、神戸市として一か所を想定しているのか。(委員)
- 現時点では、拠点の場所や人数などの体制については決まっておらず、神戸圏域の在宅医療の課題を整理しつつ、人材の面でも効率的に実施する方法を検討する必要があると考えている。(事務局)
- ・神戸市医師会の活動においても、医師会員に対して在宅医療に関するアンケートなども取り入れ、医療介護サポートセンター（在宅医療・介護連携推進事業）の医療介護情報資源検索システムにもその情報を載せ、検索しやすいシステムを構築しているところである。(委員)
- ワーキンググループについては、地域包括ケア推進部会の委員の皆さまにも相談をさせていただきたい。在宅医療に必要な連携を担う拠点については、在宅医療・介護連携推進事業の取組を活用できる部分もあるので、医療介護サポートセンター（在宅医療・介護連携推進事業）の委託先である神戸市医師会とも議論をさせていただきたいと考えている。(事務局)
- ・在宅医療では、医療職者だけではなく、現場をより近くで見ていらっしゃる訪問介護の方にもワーキングへ参加をしていただけるようにしていただきたい。(委員)

(3) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議部会の開催について

(4) 介護予防ワーキングの開催について

- ・聴覚フレイルは、つどいの場等への参加を阻害する事実もあるので、聴覚フレイルについても介護予防事業の中で取り組んでいただきたい。(委員)
- ・保健指導の内容を教えてください。(委員)
- 栄養、運動、社会参加に特化したものになる。(事務局)